

場面④隅田川

訳21 なおもどんどん進んで行つて、
武藏の国と下総の国との間にた

いそう大きな川がある。

それを隅田川という。

訳22 訳23 その川のほとりに集まり座つて
(遠く離れた都に) 思いを馳せ
ると、限りなく遠くへ来てし
まつたものだなあ、と(皆で)
つらい気持ちを嘆き合つている
と、

訳24 渡し守が、「早く舟に乗れ。日
も暮れてしまう。」と言うので、
訳25 (舟に)乗つて(川を)渡ろう
とするが、人々は皆なんとなく
つらい。京に思う人がいないわ
けではないのだ。

問一 いつ頃の話か?

ア タ方 イ 昼過ぎ ウ 日没後

訳21 なおもどんどん進んで行つて、
武藏の国と下総の国との間にた
いそう大きな川がある。

それを隅田川という。

訳22 その川のほとりに集まり座つて
(遠く離れた都に)思ひを馳せ
ると、限りなく遠くへ来てし

まつたものだなあ、と(皆で)

つらい気持ちを嘆き合つている
と、

訳24 渡し守が、「早く舟に乗れ。日
も暮れてしまう。」と言うので、

訳25 (舟に)乗つて(川を)渡ろう
とするが、人々は皆なんとなく
つらい。京に思う人がいないわ
けではないのだ。

問二 傍線部の理由として可能性が
もつとも高いものを選べ。

ア初めての川に恐怖を感じたから。
イ川を生死の境目と感じたから。
ウ大きな川で都とのつながりが断た
れてしまいそうだつたから。

このは空白ページです